



# たすけあいセンター ジュントス JUNTOS! 通信

JUNTOSは  
ポルトガル語で  
“いっしょに”

日本語版

2019.4.15 発行 第26号



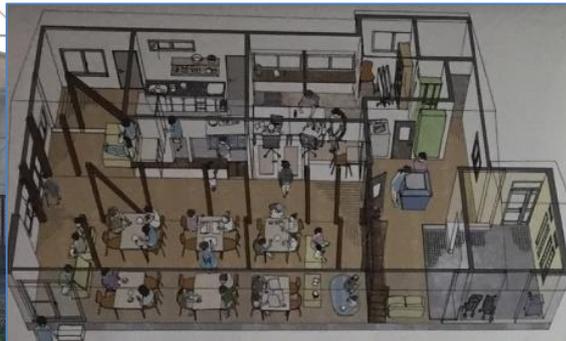
## もり・はしプロジェクト(森下町と橋本町の地域再生)の取り組み

2年かかりましたが、旧片野外科胃腸科医院の土地を2,000万円で購入できました。診療所と母屋の改修費(約3,000万円)のうち、3分の2の補助も決定しました。旧診療所部分は、夏にはコミュニティ・レストランと学習スペースに生まれ変わります。残り1,000万円で、「えんがわハウス」は完成します。

昨年開所した多文化保育「はじめのいっぽ保育園」も1周年を迎え、市の認可が得られるよう取り組んでいます。空き家を多世代・多文化交流拠点として再生し、外国とつながる子どもたちの未来を拓くことは、常総の復興につながります。そのために、私たちは1,000円の寄付達成と、保育園の早期認可に向けてチャレンジを続けます。ぜひこの取り組みにご参加、応援をお願いします(お振込先などは8ページ)。



4年連続で来られた白鷗大の皆さん



東京芸大の学生さんが描いた診療所改修図



母屋の活用・改修も進めます



はじめのいっぽ保育園の子どもたち



学童の子と地域の皆さん



「なかよし」の塚越代表(前列中右)を囲んで



保育園の保護者の皆さん



水海道ロータリークラブの皆さん

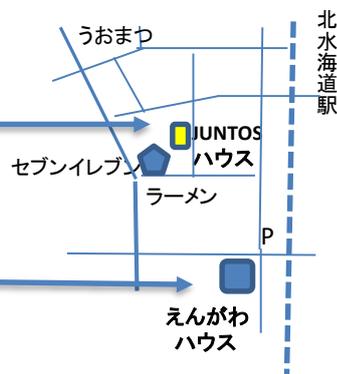


母屋で開かれた食事会の様子



もりはしプロジェクトとは、2015年の鬼怒川洪水の時、3日間水に浸かり、住宅被害が大きかった森下町と橋本町での、空き家を活用したコミュニティ再生の取り組みです。

最初に改修し、2016年春に開所した森下町のJUNTOSハウスは、子どもたちの学習の場や障がいのある子の放課後等デイサービスの場として活用したり、時にはアパートを追われた人のシェルターとしても活用してきました。2019年度からは常総に泊まりたい人のゲストハウスとして、新たな交流拠点になります。



左から母屋、住宅棟、旧診療所

2つ目に再生に取り組んできたのが、森下町と橋本町の境界に面した旧片野外科胃腸科医院と住宅2棟です。医院は水害前日まで週1回開かれていましたが、水害後は閉鎖し、お医者様も亡くなられたため、空き家になっていました。2016年秋にご家族の方と会い、地域の復興の要となる場として再生させて欲しいとお話し、ボランティアによる改修がスタート。

これまで、パルシステム茨城 栃木の方々、栃木県の白鷗大の学生さん、国際ボランティアのNICEの方たちがボランティアで作業をしてくださいました。商船三井さんは新入社員研修で毎年来られます。そのおかげもあって、住宅棟は家庭的な保育の場に生まれ変わりました。はじめの一步保育園は、4月で開園1周年を迎えました。(詳しくは5ページ)



白鷗大学の皆さん



商船三井の皆さん



NICEの皆さん



パルシステム茨城 栃木の皆さんの協力で片付けたりリビングが、保育室に



母屋も昨年、仮の床と壁を貼って使えるようにしました。ヨガ教室や食事会も時々行われるようになりました。荷物がたくさんあった2階もすっきり片付き、平日は学童保育、土曜は補習教室が行われています。この地域に多く暮らす、ブラジルなどから来た外国籍の子どもの保育と学習支援が毎日行われるようになりました。そこには市内の高校の生徒や筑波大生などが学習支援に来てくれています。



広い庭に面したえんがわがあることから、私たちは「えんがわハウス」とこの建物を名付けました。えんがわハウスは、保育や子どもの居場所をつくること、多世代、そして多文化が交流する、みんなの居場所をつくり、互いに助けあったり、教えあったりする活動の拠点とするのが本来の目的です。



母屋1階は多目的室、2階は学童ルームに

そこで、主役である地域の方々にえんがわハウスのことを知っていただき、活動のアイデアをいただくために、幾つかの催しを行ってきました。それが右にある、落語会、クリスマス会、餅つきです。



楽麻呂さんの落語



クリスマス会



餅つき

このように、徐々に場を usable するようにしてきたことで活動が始まりましたが、本格的な改修には費用がかかります。そこで、ジュントス・常総復興まちづくり株式会社を2017年秋に設立し、国土交通省の補助事業に応募したところ、企画が採択されました。ただ、実際の補助金を得るためには、建築基準に関する調査、図面や工事見積の作成、銀行の融資を得るなど、様々なことをする必要がありました。最大の課題は土地を購入することでしたが、何としてもこのプロジェクトを成功させるべく、今年2月、ついに土地を購入し、同月、国の改修費の補助も決定しました。



# えんがわハウスの改修計画と活動アイデア

えんがわハウスは北から旧診療所、住宅、母家、庭がつながっています。真ん中の住宅は1年前に改修が終わり、「はじめのいっぽ保育園」として活用されています。その南にある母家は最低限必要な改修が行われ、2階で学童保育、1階ではヨガ教室、交流イベント、会議場、宴会などで活用されています。

旧診療所は、気軽に立ち寄れるコミュニティ・レストラン、ギャラリー、ホール、学習室のある建物として生まれ変わります。東京芸大で建築を学ぶ学生さんが住民の声をききながら設計してくれました。

この新たな場所で何をするかについては、これまでの話し合いで下記にあるような活動アイデアが出されています。

これらを具体化するには場の運営を担うチームが必要になります。そこで1月に、地域の皆さん6名で先進地視察を行いました。パルシステム茨城 栃木の日立館では、料理教室や子育てサロンが住民により活発に行われています。

ひたちなか市にある「くらし協同館なかよし」は、閉店した生協の店舗を住民が自主運営する形で再開した場で、食材の提供の他、多種多様な趣味講座や子育て支援を行っています。

いずれの場も、世代を超えて人が集い、食文化を伝えたり、趣味講座や健康づくりを自分たちで考え、楽しそうに運営していました。



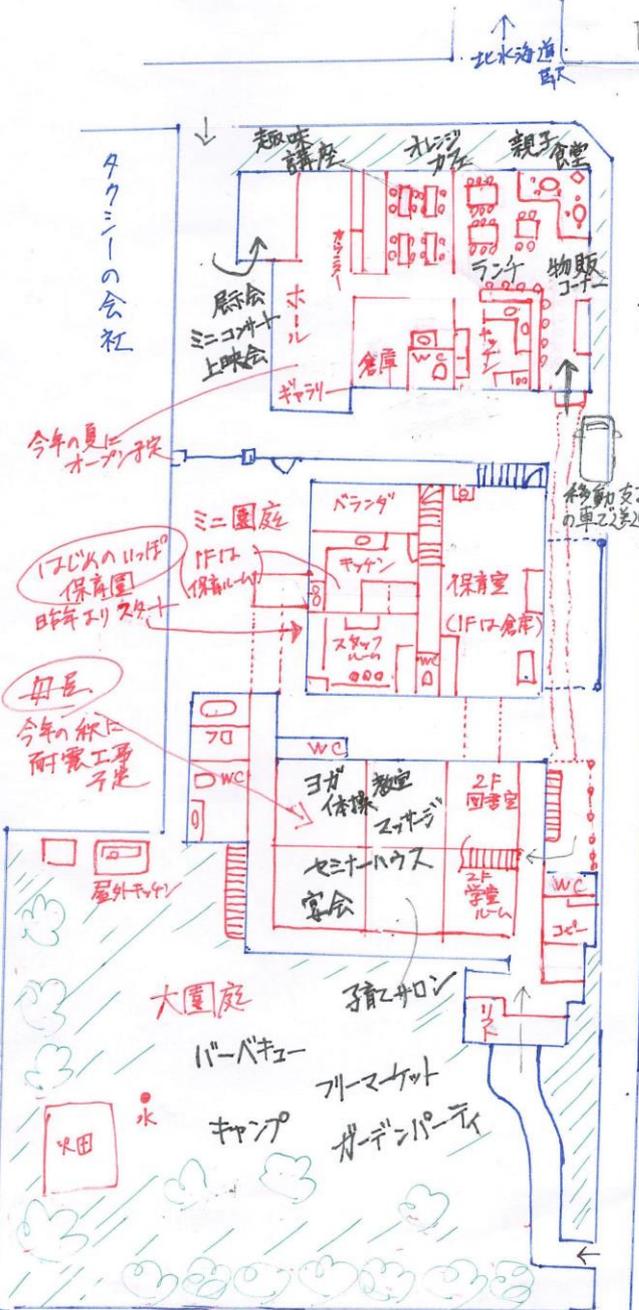
診療所改修模型を見て、壁は何色が良い？



パルシステム茨城 栃木の日立館を視察



「くらし協同館なかよし」を視察



1月27日には「くらし協同館なかよし」の塚越代表にえんがわハウスに来ていただき、どのように「なかよし」を立ち上げ、運営してきたかを伺いました。歩いて買物に行ける場をどうしても残したいと思う住民が集い、それぞれできることをできるときにするという方針で、100名近い有償ボランティアが惣菜づくり、物販など8つの班に分かれて活動しているそうです。公民館かと思うくらい多種多様な教室が毎日開かれ、皆が持ち寄る参加費の一部と物販の販売手数料などで、補助金なしで運営しています。光熱費や設備の費用をどうするかなど課題に直面しつつも、皆で知恵を出して克服しているとのこと。正に、住民による住民のための活動であり、皆の居場所だと感じました。実際にその場を見て、話も聞いたことで「自分たちでもできるかも」という声が聞こえたのが大きな成果でした。これから診療所の改修が終わる夏までに、運営に関わっていただく方を広く募っていきます。下記の表にある活動のいずれかをやってみたいという方は、ぜひ連絡してください。

ジュントス横田:090-8854-0831 森下町の染谷さん:090-1836-9444 橋本町の中根さん:0297-22-1590

班	調理	物販	ギャラリー・ホール	趣味	健康	お出かけ	交流	子育て支援
活動案	ランチ、喫茶、パーティ、お弁当	委託販売、リサイクル、中古品の売買代行	展示会、コンサート、映画上映会、落語会	各種習い事、花壇づくり、音楽、朗読健康麻雀	体操、ヨガ、マッサージ健康相談、介護相談	通院や買い物支援、県外視察、旅行企画	外国語や料理の教室、季節の行事	サロン、保育園や学童の子との交流

# 一緒に育ち、一緒に暮らしていくまちを目指して

## 常総市に暮らす外国ルーツの人々

常総市には、日系ブラジル人をはじめとする多くの外国にルーツを持つ方々が住んでいます。2019年3月1日現在、常総市の人口は、63,490人で、そのうち4,972人が外国人住民です。これは、常総市全人口の約8%の割合になります。コモンズでは、常総市に住む外国にルーツを持つ方々が直面している課題に対して、外国人住民対象の相談や各種サービスの提供を行い、多文化共生社会に向けた取り組みを行ってきました。

以下では、コモンズが今年度行ってきた外国ルーツの人々との活動や彼らへの支援をご紹介します。

## コモンズの取り組み ～常総市でのライフコース～

出産



保育



就学



小学校



中学校



高校



社会人

### はじめのいっぽ保育園(月～金曜日)

2018年4月開所。ポルトガル語、英語などの通訳付き。ブラジル、フィリピン、日本など多様な国籍の園児が在籍している多文化保育園です。この保育事業はトヨタ財団と茨城県産業大県基金の助成をいただきました。



### プレスクール(火・木曜日)

小学校就学前の子ども達に日本語初期指導や学校生活に必要な学習を行っています。今年度は2018年2月から3月にかけて集中的に実施しました。



### はじめのいっぽアカデミア(学童保育:月～金曜日)

2018年6月開所  
小学生を対象に日本語指導や宿題の補助を行っています。夏休みには、日本の文化体験や課外活動を実施しました。プレスクールと学童は、ベネッセこども基金の助成をいただきました。



### アフタースクール(土曜日)

小中学生を対象に学習支援を行っています。子ども達には、ボランティアの方が日本語などの勉強を教えています。石下地区の児童生徒には送迎を行っています。



### 進路ガイダンス

親子向けの高校進学ガイダンスを毎年開催しています。高校受験や高校入学前の準備など知りたい情報を提供します。今年度は常総、土浦、神栖で行いました。ポルトガル語、タイ語など参加者の希望に沿って通訳付きで実施しています。

### キャリアセミナー(2017年度実施)

外国の若者(主に中学生、高校生)を対象に、仕事や進路の選択肢を増やし、学習や就労への意欲を喚起することを目的にキャリアセミナーを開催しています。

### 保育人材育成

外国人住民の職の幅を広げるため、はじめのいっぽ保育園では保育人材育成に努めています。現在4名の外国籍スタッフが働いており、各国のお祭りや料理提供をするなど、外国人スタッフも主体となって保育園の運営に携わっています。2018年度には3名の外国人スタッフが子育て支援員研修を受講、修了しました。



### 生活相談

外国人住民の生活相談員「ピアサポーター」が、税金、医療、年金などに関する相談にのり、不安解消や問題解決に向けてお手伝いします。

## キャリア円卓会議

2017年度から2年間トヨタ財団の助成を受け、外国につながる若者の学校卒業後のキャリア育成も視野に入れた円卓会議を開催しています。

入管法改正に伴い、外国籍の人々の受け入れ環境整備に関する国や県の取り組みも変わりつつある中、今後さらにどのように外国につながる子どもの学習支援や、若者のキャリア育成の仕組みをつくっていくか議論するため、2018年度は2度(6月、1月)の円卓会議を開催いたしました。



## はじめのいっぽ保育園

### 保育園の一日

	0~1歳児	2歳児~
7:00~	登園	
9:00~	水分補給・おやつ	
10:00~	遊び	活動
11:00~	給食	
12:00~	お昼寝	
15:00~	水分補給、おやつ	
15:50~	帰りの会	
16:00~	帰宅準備、順次帰宅	
18:30~	延長保育	

### 保護者の声

○保育園の先生は、子どもをきちんと見守ってくれていて、とても安心できます。大好きな保育園です。

○いつも親切に子どもたちを見てくれて、すごく安心して職場に行くことができます。先生たちもいつも親切で本当にありがたい気持ちでいっぱいです。

### スタッフ紹介

#### ○はじめのいっぽ保育園

横田 能洋(園長)  
安藤 加代子  
マラバナン・ビビアン  
坂本 パトリシア  
ソガベ・サブリーナ

奥本 利香  
野田 タカコ  
神田 あずさ

#### ○はじめのいっぽアカデミア(学童)

藤本 ユリコ  
川口 恵美里

(2019年4月1日現在)

## ピアサポーター

2018年度コモンズでは、常総市と協働で「在住外国人への定住化支援事業」に取り組んできました。その一環として、常総市に住む外国ルーツの人々が困っていることについて相談できるピアサポーターの養成を行ってきました。

ピアサポーターとは、外国にルーツを持つ人々の困りごと、例えば、税金、年金、医療、福祉、教育といった相談について多言語でサポートする人のことです。

2019年度以降は、このピアサポーターが住民の相談に親身になって対応していけるよう、活動していく予定です。



## 『外国人のための生活ガイドブック』

常総市で暮らすために役立つ情報をまとめた『外国人のための生活ガイドブック』を発行しました。これは、自らも日本に移住し、様々な経験をしてきたピアサポーターが、一生懸命内容を検討し作成したものです。そのため、外国人住民の方が知りたい情報が詰まっています。

このガイドブックは、ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語、中国語、ベトナム語、日本語の全7言語版があります。

下記のホームページで閲覧することができますので、是非ご活用ください。

Peer-Support-Joso (<http://peer-joso.com/documents.htm>)





# インクル・ベース

インクルWorkでは、地域の方の小さなお困りごとから、除草作業や簡単な住宅修繕などのお仕事をお受けし、活動しています。

そして『張替え工房いんくる』が始動しました！

ここでは、ふすま・障子・網戸の張替えの仕事をお受けしています。熟練した指導員の下、利用スタッフのみなさん日々技術を磨いています。

全くの未経験で、初めて見る作業でした。工程によって道具が違ったり、のりが乾くことによってできあがりが変わるので、みんなで考えながら行っています。大変ですが、やりがいがあり一つ一つ奥深い作業が多いです。ふすまの絵柄を合わせる作業は、みんなで頭痛がするくらい悩んで完成した後、どっと疲れましたが、キレイに仕上がって届けられると思うととても嬉しく思います。

(Hさん 女性)

その他、室内ではミシンやPC、パッキング作業など様々な仕事に取り組んでいます。

外で働く屋外業務は、地域のおたすけ隊として草刈りや家事代行、外注によるハウスクリーニングや解体業務など、様々な仕事に取り組んでいます。



## スタッフさんへインタビュー

**Kさん( 男性 屋外班 )**

- ①インクルに来てどのくらい？ → 8年です。…嘘です(笑) 1年半くらい。
- ②お仕事は大変ですか？ → 大変な時もあります。最近大変だったのは、解体業務。
- ③休みの日は何をしていますか？ → 買い物とか釣り。ヘナブラやたなごを釣ります。
- ④インクルでの目標はありますか？ → 仕事をたくさん取って、インクルが忙しくなるようにしたい。
- ⑤最後に一言 → 休まないで頑張ってください！！

**Sさん( 女性 室内班 )**

- ①インクルに来てどのくらい？ → 3ヶ月です。
- ②お仕事は大変ですか？ → はい、大変です。やったことのない仕事がたくさん。
- ③休みの日は何をしていますか？ → 子どもと一緒にマックに行きます♪
- ④インクルでの目標はありますか？ → 一般就職！！
- ⑤最後に一言 → 仲間が増えたら嬉しいです。

**募集しています！** お仕事と一緒に働くスタッフを募集しています。

◎お仕事内容

- ・ふすまや障子、網戸の張り替え、縫製、発送、オリジナル防災商品の企画販売
  - ・除草作業、家の片づけ、植木の剪定、など
- 様々なお仕事をお受けしています。

一般社団法人グローバルセンター・コモンズ「インクルベース」

常総市水海道森下町4346-3 エルバ水海道 (蕎麦屋 志な及 隣り)



## 常総発の自主防災の取り組み

### 誰もが避難でき、共助で運営する避難所の開設訓練を広げたい

3年半前の常総水害では、避難所の備えや避難訓練をしていなかったために、多くの人々が逃げ遅れました。それを教訓に、森下・橋本地区では合同で避難所開設訓練を行ってきました。足の不自由な人も、乳幼児やペットがいる世帯も避難できるようにしたいとの思いから、発災から3日間程度、住民、学校、行政、NPOが協力して「共助型避難所」を運営できるよう、避難所開設キットを開発しました。それを活用した避難所開設訓練も2つの学校で行いました。関心がある方は、ジュントスまでお問い合わせください。



避難所開設キットには、活動班ごとの機材やマニュアルがあり、その場にいる人で避難所を開設できるようにしています。ワゴン車2台に積み込んで、学校などにいつでも持ち込めるようにしています。これらを使って開設訓練をしておけば、最低限の環境をつくれるだけでなく、さらに訓練を通じて、何があるときより避難しやすいか気づけます。

- 本部用(文具、パソコン、メガホン、ラジオ、ピブス等)
- 電源班用(コードリール、ガス式発電機、照明、充電器)
- 施設班用(ロープ、ブルーシート、段ボールベット等)
- 炊き出し班用(ガスコンロ、なべやかん)
- トイレ・衛生班用(スリッパ、衛生用品、災害用トイレ)
- ケア班用(救急箱、オムツ、ポット、乳幼児コーナー等)
- 受付班用(筆記用具、受け付けで使う多言語シート等)

## 昨年度実施した水海道中学校や鹿島特別支援学校等での訓練・研修の様子



水海道中学校では3年生が高齢者や子連れママなどの避難者役と、避難所の各班のスタッフに分かれて避難所体験をしました。



鹿島特別支援学校での訓練には、医者や薬剤士も参加。車による電力供給もテストしました。大井川県知事も視察に来られました。



生涯学習センターや生協で親子防災教室も実施。防災用品を見て触ったり、クイズをしたり、油を使わないビニール調理なども体験。

# えんがわハウス（母家）とJUNTOSハウスをご活用ください

目的	内容
<p><b>えんがわハウス 母屋の貸出</b></p> <p><b>地域の教室 〇〇サロン、 視察研修、 団体合宿、 イベント会場、 懇親会場 として</b></p>	 <p>母屋の1階の8畳4区画を貸し出します。1区画1時間500円（主催が常総市民の場合は半額）会議・セミナーは2区画（16畳）で20名程度、4区画（32畳）で40名程度収容できます。机、椅子、ホワイトボード、プロジェクターの貸し出し可、エアコンあり。10～24名程度で懇親会をセットすることもできます。（値段は応相談）空き家修復などのボランティア体験、常総の災害復興に関する研修も受け入れ可能です。さらに、庭を使ったバーベキュー、キャンプなどのイベントも行えます。平日日中は駐車台数に限りがあります。平日夜間と土日は20台まで駐車できます。</p>
<p><b>宿泊は JUNTOSハウス （準備中）</b></p>	 <p>北水海道駅から徒歩4分。ボランティアが改修した民家なので、共用ですがお風呂と広い台所もあり、自宅のように過ごせます。隣がコンビニで飲食店も隣接。計10名まで宿泊可能です。料金などは準備が整い次第、ウェブサイトに掲載します。まずはお問い合わせください。希望により、持ち寄り式での懇親会も可。世界の料理や防災食も体験できます。</p>

## 移動支援ボランティア講習会

ジュントス移動支援チームでは時間のある時に通院などの送迎を担っていただく方を募集中です。**2019年5月12日（日）**に生涯学習センターで、ボランティア送迎講習会を行います。ご参加お待ちしております。

## 常総オリジナル防災セット販売中



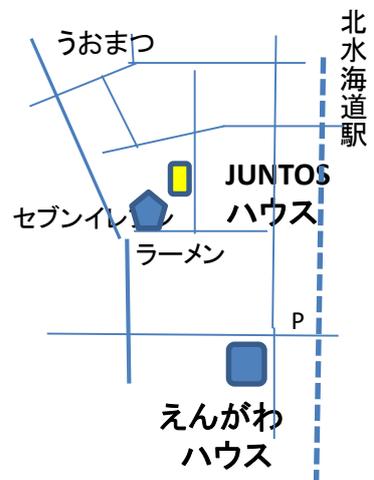
ベーシックセット 1万円（税別）
最低限の用具の詰め合わせ
手回しラジオ、卓上ライト、ロウソク、防塵マスク、給水パック、笛、携帯トイレ、家庭用災害トイレ、カイロ、アルミシート、衛生セット、スリッパ、収納ケース
フルセット 2万円（税別）
厳選品の詰め合わせ
上記セットと防災トイレ増量分に加えて、太陽光式ライト、携帯充電器、エアベット、ヘッドライト、家の損害を記録するための使い切りカメラなどあると役立つものを満載

防災セットのお問い合わせはいんくるまで tel:0297-38-5028

## えんがわハウスと一緒に活動しませんか

これまでの仕事の経験や趣味や特技を、えんがわハウスで生かしてみませんか。

料理作り、日曜大工、花壇づくり、子どもの見守りや本の読み聞かせ、宿題を見てあげる、趣味講座など、できるときにできることでぜひ関わってください。送迎が必要な方も相談に乗りますので。



## 発行:たすけあいセンター「JUNTOS」事務所移転しました

（運営：認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ）

〒303-0003 常総市水海道橋本町3571（北水海道駅徒歩10分）

ウェブ：www.juntos-joso.org eメール：juntos@npocommons.org

電話：0297-44-4281 FAX：0297-44-4291

時間：午前10時～午後4時半（日曜・祭日は定休日）

金融機関名・支店名	中央労働金庫 水海道支店
口座番号	普通 5009041
口座名義人	特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋